



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：松崎 浩 幹事：野沢 達也 発行：会報・広報委員会

第 2983 例会 (13号) 2015 年 10 月 8 日 (木) 晴

米山記念奨学会担当卓話 SPEECH

日本留学の経験とミャンマーの紹介



東日本国際大経済情報学部3年
ズインモーウェイ 様

皆さん、こんにちは。私はミャンマー出身です。この度、米山記念奨学生に選ばれ、大変うれしく思っています。

私が日本に留学した理由や目的をお話します。私は小さい頃から留学して自立したいと考えていました。何故なら女性にとって窮屈なミャンマーを出て、精神的にも自立したかったからです。留学の機会が来た時、私の祖父が戦時中に出会った日本人からの話をきっかけに日本に興味を持ちました。先に来日していた親戚や友人から現在の日本の話を聞きました。経済が発展して近代的な街並みがある一方、神社・仏閣などどこかミャンマーに似たところがある国と聞きました。また、平和で安全な国なので女性の一人暮らしも大丈夫と知り、日本を留学先に選びました。

私は2011年3月6日に来日しました。直後に東日本大震災が起きました。人生で初めての地震の体験でした。私は駅近くのショッピングセンターで買い物をしている時に大きな揺れを感じました。2度目の揺れも大きく、逃げる際に転んでしまうほどでした。治まってから外に出たところ周りの様子は悲惨な状態でした。

大震災でたくさんの人々が亡くなり、今も家族がバラバラに生活していることも聞きました。自然災害の恐ろしさを私は日本の皆さんとともに知りました。被害にあった人たちは本当にお気の毒だと思いました。私は、このように大震災を経験し、自分の目で復興への過程を見ました。日本の皆さんが決して弱音を吐かずに、前向きに努力し頑張っている姿を肌で感じました。

私も福島県で暮らしている留学生として、福島県のために何かできないかとボランティア活動をしています。福島の現状を海外に伝えるための活動をしたり、いわきで開催されたプロ野球のオールスター戦で補助

を務めたり、希望に応じ絵のモデルや着付けモデルもしました。私は、ボランティア活動は自分の存在意義を確かめられる活動だと思っています。また、日本の文化や習慣を学ぶこともでき、何と言っても人々の笑顔に触れることが一番です。

3年前に帰国した時、孤児院を訪ねました。多くはありませんが、お金や食べ物、洋服などを寄付してきました。子供たちに勉強を教えたり、一緒に遊んだりしました。その時の子供たちが見せてくれた笑顔が忘れられることができませんでした。また、ミャンマーでボランティア活動をしてくれる日本人が多いことも有名な話です。金銭的なことだけでなく、日本語指導、孤児の保護、貧しい人たちへ医療行為の提供をしてくれます。飛行機で7時間もかかる遠い国の人々を助ける気持ちの優しさに心を打たれます。私は、これからの2年間もボランティア活動をしていくつもりです。大学卒業後も日本での貴重な経験を生かした仕事に就きたいと考えています。そして、このような尊敬すべき日本人の方々と一緒に仕事ができればいいなと思っています。

私は日本に来てから女性の自立、あるいは自由とはこういうことなのかと、思うことが数多くあります。日本では高校を卒業したら一人暮らしをする女性がたくさんいます。仕事やアルバイトを男性と同じように責任を持って取り組んでいます。母国を離れてみて初めて気付いたことがありました。私たちミャンマーの女性は、男性ならできて女性にはできない、男性より女性は下だと社会生活の中でいつの間にか植え付けられていることです。でも、これは大きな間違いだと思います。人間は平等です。自己主張をして、男性と同様に自由に生きている日本人の女性を見て私は確信しました。

私はこれからも大学で勉強してたくさんの知識を身につけ、外面だけでなく内面的にも男性に負けないように頑張るつもりです。私は卒業後、帰国して日本で充実した学生生活を送ったことを自信とし、母国でも自立した人間になりたいです。そして学んだ知識や経験を生かし、母国と日本の懸け橋になります。

(このあとパワーポイントを使ってミャンマーの紹介をする。自然の美しさや歴史・文化を感じさせる寺院、人々の暮らし、観光地などを説明した)



2015~2016年度
国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：野沢幹事

点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・
四つのテスト（松村耕三会員）



松村耕三会員

★結婚祝



伊藤盛敏さん
(10月13日)



黒須幸雄さん
(10月15日)

★誕生祝



松崎浩さん
(10月13日)



浅倉哲也さん
(10月25日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

卓話をお願いしたミャンマー出身の米山記念奨学生
ズインモーウェイ様

◆会長挨拶ならびに報告



今週はいろいろなニュースが飛び込んできました。中でも北里大学特別榮譽教授の大村智さんのノーベル医学生理学賞受賞には感銘いたしました。ノーベル賞と言えば、これから先の利便性などを重視して選ばれることが多いのだそうですが、今回は何億人もの苦しんでいる人々を助けたこと。その功績をたたえての受賞だからであります。

また同時に、大村先生といわき明星大学との深い関わり合いが、世界に向けてニュース発信されたことにも感銘いたしました。いわき明星大学創立20周年に、イベルメクチンのもとになったエバーメクチンについての記念講演をされていた。同大学が薬学部を創設する時に、真っ先に大村先生が、お弟子さんたちを教授として派遣されたことなどが、その報道の内容でした。

「人の役に立つことをしなさい、と幼少のころから祖母に言われて来たのです」というコメントをお聞きしました。大村先生の原点はそこにあるのだなと思いました。

これ以上は、私がお話しするより、お二人の学長が我がクラブにいらっしゃいます。一度、卓話の機会にでも詳しいお話をお聞きしたいものです。皆さん、前学長の関口武司さん、学長の山崎洋次さんに祝福の拍手をお願いいたします。おめでとうございます。

◆幹事報告

- 2015～2016年度ガバナーエレクト事務所開設の案内が届きました。
- 郡山RCより会報が届きました。
- いわき国際交流協会より「ワールドアイ」が届きました。
- ロータリー米山記念奨学会より「豆辞典」が会員の皆様に贈られます。
- 米山より「ハイライトよねやま186」が届きました。

委員会報告

◆出席委員会（佐藤淳委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
10月8日	50名	33名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

大久保健蔵さん、三瓶和秀さん。 以上2件

◆米山記念奨学会委員会（森雄治委員長）

大久保健蔵さん、三瓶和秀さん、山崎洋次さん。 以上3件

◆雑誌委員会（松崎倫久委員長）

- ロータリーの友の読みどころ 10月号：
横組 1ページ RI会長メッセージ「ポリオ撲滅の物語を語りましょう」
7～12ページ ロータリーは例会から。「クラブの危機を救った握手」「誕生日の歌は日本語で（喜多方RC）」など。

◆スマイルボックス委員会（黒須幸雄委員長）

♥松崎浩さん（誕生祝ありがとうございます。米山委員会森さん卓話よろしくお祈りします）♥鈴木稔さん（皇太子様ご夫妻のご来市を心よりお祝い申し上げます）♥浅倉哲也さん（誕生祝をいただき、ありがとうございます）♥伊藤盛敏さん（結婚祝ありがとうございます）♥黒須幸雄さん（結婚祝ありがとうございます。50年になりました）♥児玉武彦さん（しばらく欠席してすみませんでした）♥志賀弘昌さん（米山ズインモーウェイさん卓話よろしく）♥森雄治さん（ズインモーウェイさん卓話よろしくお祈りします）♥佐々木芳弘さん（奨学生様頑張ってください）♥有賀行秀さん（卓話よろしくお祈りします）♥関口武司さん（ズインモーウェイ君、卓話宜しくお祈りします）♥山崎洋次さん（卓話よろしくお祈りいたします）♥鷲千明さん（主人の葬儀に対して皆様には大変お世話になりました。10月5日主人の誕生日の品を届けて頂きうれしく思いました。） 以上13件

★本日の例会案内 10月22日（木）12：30～
いわき桜RCとの合同例会

外部卓話

いわきオーリープロジェクト 松崎康弘代表
お食事メニュー＝牛フィレステーキ温野菜添え

★次回の例会案内 10月29日（木）12：30～
第3回クラブ協議会

お食事メニュー＝天麩羅うどん・ミニバラちらし